

中部運輸局同時発表

平成 31 年 3 月 12 日
総合政策局物流政策課**明知鉄道線で貨客混載が始まります！**

～日本郵便と明知鉄道による宅配貨物等輸送の効率化～

国土交通省は本日、日本郵便（株）と明知鉄道（株）が実施する、鉄道の貨客混載の総合効率化計画について認定しました。これにより、日本郵便の車両からの CO₂ 排出量の削減、ドライバーの運転時間の削減が図られるとともに、明知鉄道の経営基盤強化が図られることも期待されます。

国土交通省では、物流分野における労働力不足や多頻度小口輸送の進展等を背景とする物流分野における省力化・効率化・環境負荷低減を推進するため、2 以上の者が連携した幅広い物流効率化の取り組みを支援しております。



今般認定した計画は、岐阜県恵那市に所在する恵那郵便局と、同市明智町に所在する明智郵便局との間でやり取りする宅配貨物等の一部を、明知鉄道線「恵那駅」において旅客列車に積み込み、「明智駅」まで輸送することにより物流の効率化（モーダルシフト）を図るもので、**3月16日（土）から運行が開始**されます。

従来の輸送は軽貨物車で3往復行われておりましたが、本取り組みによりこのうち1往復が廃止（※）されることとなり、

- ・ **貨物車両からの CO₂ 排出量：年間 500kg 削減**
- ・ **ドライバーの運転時間：年間 117 時間削減**
- ・ **安定した運賃収入の確保による明知鉄道の経営基盤強化**

といった効果が期待されます。

（※旅客列車に積載するのは恵那局⇒明智局向けの片道のみ。復路は別業務の車両を活用。）



明知鉄道線の車両

事業の詳細につきましては、別紙もあわせてご参照下さい。

なお、運転開始日となる**3月16日（土）15時50分から、明知鉄道線の恵那駅のホームにて出発式**が行われます。詳細につきましては、各社プレスリリースまたは下記問い合わせ先へご連絡ください。

旅客鉄道を活用する貨客混載は、ヤマト運輸（株）と京福電気鉄道（株）による「嵐山線（嵐電）」など、佐川急便（株）と北越急行（株）による「ほくほく線」、WILLER TRAINS（株）と（株）丹後王国による「京都丹後鉄道（たんてつ）」などで行われていますが、**日本郵便（株）としては初の事例**となり、本件の開始によって、**宅配事業者大手3社全てで鉄道による貨客混載が行われる**こととなりました。

国土交通省では、引き続き事業者の皆様および各運輸局と連携しながら、総合効率化計画の認定を通じ、物流の効率化に取り組んでまいります。

【問い合わせ先】**（出発式について：報道関係の方）**

日本郵便株式会社 経営企画部 広報室 報道担当
代表：03-3477-0111 直通：03-3477-0546

明知鉄道株式会社 総務課 広報担当
電話：0573-54-4101

（物流総合効率化法について）

国土交通省 総合政策局 物流政策課 富田、近藤、森田
代表：03-5253-8111（内線 53-334） 直通：03-5253-8799 FAX：03-5253-1559

（事業の概要について）

国土交通省 中部運輸局 環境・物流課 三屋
電話：052-952-8007 FAX：052-952-8085
国土交通省 中部運輸局 鉄道部監理課 宮川
電話：052-952-8030 FAX：052-952-8086

【事業概要】明知鉄道線における宅配貨物等の貨客混載輸送

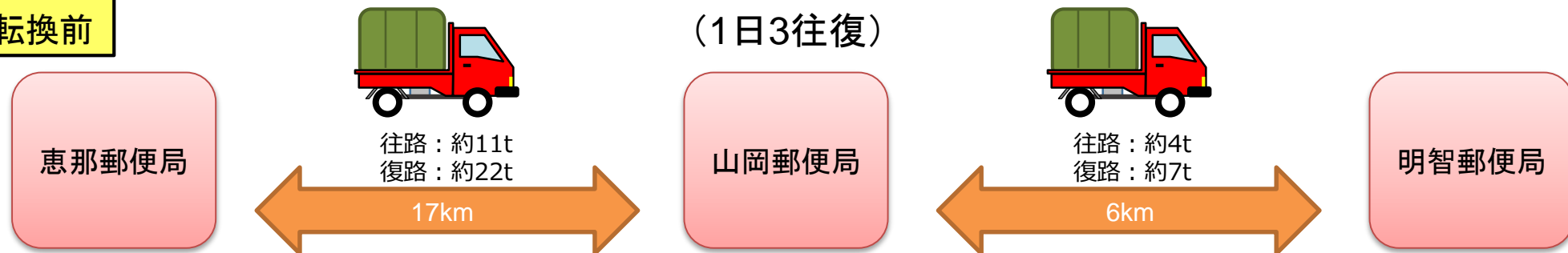
実施主体

日本郵便(株)
明知鉄道(株)

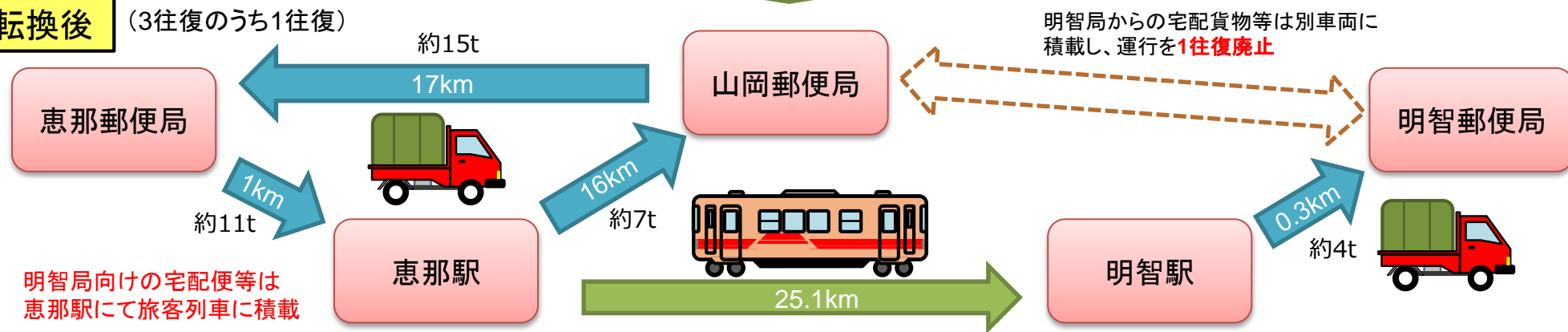
事業内容

日本郵便の恵那郵便局⇒明智郵便局向けの宅配貨物等の輸送について、明知鉄道線恵那駅～明智駅間は旅客鉄道のスペースを活用して貨客混載輸送を行う。

転換前



転換後



特徴

- 旅客鉄道のスペースを活用した貨客混載
- 貨物車両を1往復廃止

効果

- CO₂排出削減量 0.5t-CO₂/年 (37.3%削減)
- ドライバー運転時間省力化 117時間/年 (24.2%削減)

